



BUSINESS REPORT

第4期 報告書



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の概況をご報告するにあたり、当社の第4期報告書をお届けいたします。

当社は今後も、業界全体の持続的成長に貢献する配合飼料業界のリーディングカンパニーを目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成30年6月 代表取締役社長 山内 孝史

経営理念

Mission

Feedをはじめの一步として、畜・水産業界の持続的発展に貢献し、食の未来を創造します

Vision

食の安心と感動を与え続ける企業を目指します

Values

- 常に顧客・消費者の目線でニーズ・課題を捉え、問題解決に取り組みます
- 安心安全な食の提供に向けて、コンプライアンス経営を徹底します
- 高い専門性を持ち、時代の変化を捉えて常にチャレンジする人材を育成します
- 「思いやりを持つこと」「Fairであること」「謙虚であること」を常として、社会の信頼に真摯に応えます

当期の概況

当連結会計年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）のわが国経済は、企業業績は緩やかな回復基調が継続しており、所得・雇用環境も改善傾向で推移しております。一方で、国内における労働力人口の減少の問題、世界経済においては米中の貿易問題による緊張感の高まり等もあり今後の経済動向については不透明な状況にあります。

飼料業界におきましては、主原料であるとうもろこしは8月に大きく値を下げた以降は一定の価格幅で推移しましたが、大豆粕が天候の影響により高値傾向となったこと等から原材料価格は期の後半にかけて値を上げる展開となりました。

畜産物につきましては、豚肉相場は期を通じて高値傾向で推移しました。一方、牛肉相場は期を通じて前年

対比で値を下げる展開となりました。なお、鶏卵相場は比較的安定して推移しました。

こうした環境にあって、当社グループは3ヶ年の中期経営計画の達成に向けて、原料調達・生産体制の合理化、畜産・水産生産者へ供給する製品の品質・サービスの向上、コスト低減などの取り組みを進めてまいりました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の業績につきましては、売上高は2,075億6千2百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は37億6百万円（前年同期比23.3%減）、経常利益は41億3百万円（前年同期比20.0%減）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は29億7千1百万円（前年同期比24.5%減）となりました。

経営ビジョン

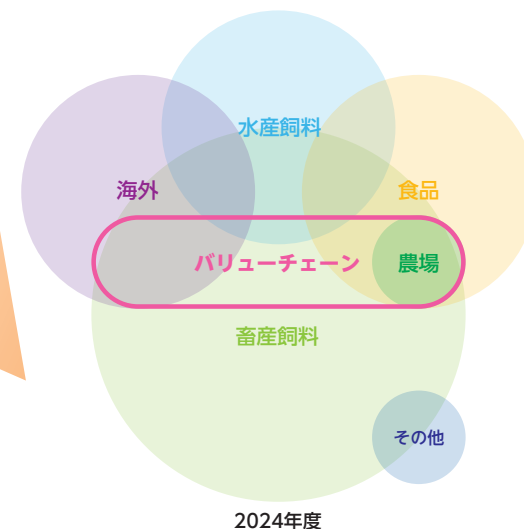
お客様の最強のパートナーとして
業界全体の持続的成長に貢献するリーディングカンパニー

「畜産飼料」「水産飼料」「食品事業」「海外事業」を収益事業の4本柱とし、2015年統合元年からの10年間で収益の拡大と「畜産飼料」をコア事業としたバリューチェーンを確立し持続的な成長と企業価値向上を目指します。



収益拡大

「畜産飼料」「水産飼料」
「食品事業」「海外事業」を
収益事業の4本柱に



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末 平成29年3月31日現在	当期末 平成30年3月31日現在
資産の部		
流動資産	47,434	51,011
固定資産	32,469	36,245
有形固定資産	22,467	25,818
無形固定資産	298	388
投資その他の資産	9,704	10,038
資産合計	79,904	87,257
負債の部		
流動負債	40,458	47,623
固定負債	8,477	6,328
負債合計	48,935	53,952
純資産の部		
株主資本	29,882	31,895
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	10,481	10,481
利益剰余金	9,438	11,452
自己株式	△ 37	△ 38
その他の包括利益累計額	699	985
非支配株主持分	386	423
純資産合計	30,968	33,304
負債純資産合計	79,904	87,257

連結損益計算書

単位：百万円

科目	前期 平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで	当期 平成29年4月 1日から 平成30年3月31日まで
売上高	207,920	207,562
売上原価	182,917	183,629
売上総利益	25,002	23,932
販売費及び一般管理費	20,171	20,225
営業利益	4,831	3,706
営業外収益	614	738
営業外費用	314	342
経常利益	5,131	4,103
特別利益	1,049	442
特別損失	926	339
税金等調整前当期純利益	5,254	4,205
法人税、住民税及び事業税	659	730
法人税等調整額	606	466
当期純利益	3,989	3,008
非支配株主に帰属する 当期純利益	51	37
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,937	2,971

連結キャッシュ・フロー計算書

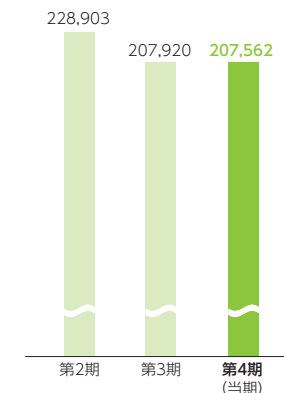
単位：百万円

科目	前期 平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで	当期 平成29年4月 1日から 平成30年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	11,777	9,199
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 891	△ 7,454
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 10,373	△ 1,330
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	513	414
現金及び現金同等物の 期首残高	1,819	2,333
現金及び現金同等物の 期末残高	2,333	2,748

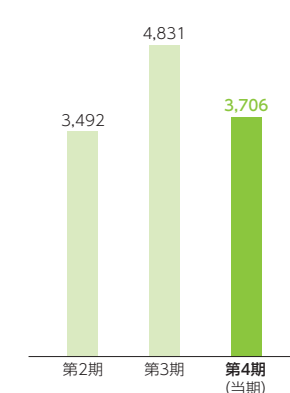
決算ハイライト

単位：百万円

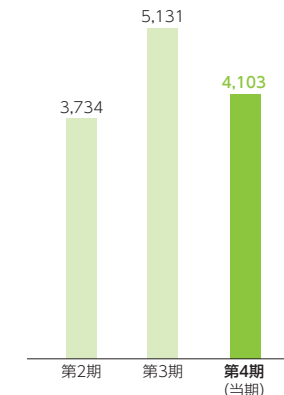
売上高



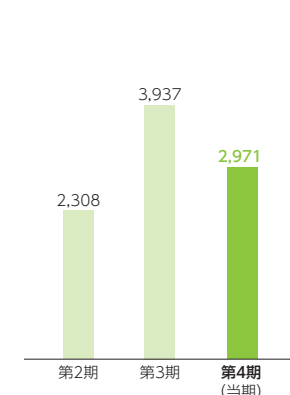
営業利益



経常利益



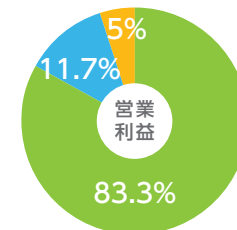
親会社株主に帰属する当期純利益



セグメント別営業利益構成比

飼料事業	50億円
食品事業	7億円
その他	3億円

※ 配賦不能額調整前



トピックス

第2次中期経営計画策定

当社グループは2018年度より3ヶ年の第2次中期経営計画を策定いたしました。

第2次中期経営計画は第1次中期経営計画を引き継ぎ、更なる基盤強化のための「事業ポートフォリオの最適化」を基本方針とし、持続的な成長と企業価値向上のため、下記の重点施策に取り組んでまいります。

重点施策

飼料事業 生産設備の基盤強化

- 販売数量増加と老朽化に対応するための新工場建設
- 既存工場の設備新設・更新

食品事業 ブランド力の強化

- 食肉グループ会社を事業統合
- ブランド生産物の開発・発売

海外事業 収益基盤の確立

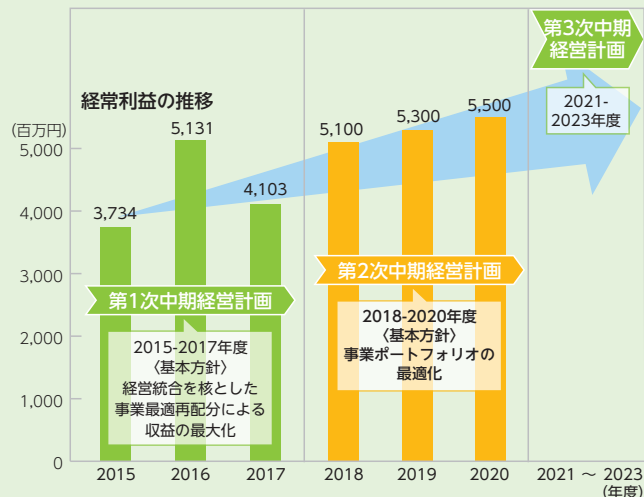
- 販売エリアの拡大・販売員の増員による販売数量拡大
- 販売数量増加に対応のための設備新設

トピックス 完全養殖クロマグロ出荷開始

極洋フィードワンマリン株式会社を通じて、クロマグロが本来持っている色目、身質、風味にこだわった高品質な完全養殖クロマグロの出荷を開始いたしました。



第2次中期経営計画の位置づけ



飼料事業 北九州畜産工場（仮称）建設

生産の効率化を図るために畜産用配合飼料の新工場建設に着手しております。隣接する北九州工場と原料調達を協働することによる相乗効果で競争力の強化を進めてまいります。

工場概要	名称	北九州畜産工場（仮称）
	所在地	北九州市若松区響町一丁目120番14
	製造品目	畜産用配合飼料

食品事業 グループ内再編

食品事業の更なる成長と効率化を実現するためにグループ内での事業再編を実施いたします。

会社概要	商号	フィード・ワンフーズ株式会社
	本店所在地	横浜市神奈川区鶴屋町二丁目23番地2
	事業内容	食肉の製造、加工及び販売

会社情報

会社の概況 (平成30年3月31日現在)

商号	フィード・ワン株式会社
設立	平成26年10月1日
資本金	10,000百万円
本店所在地	横浜市神奈川区鶴屋町二丁目23番地2
従業員数	921名(連結)
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ
決算期	3月31日
当社グループの 主な事業内容	飼料の製造・加工・販売、 畜水産物の仕入・生産・加工・販売等

役員 (平成30年6月28日現在)

代表取締役社長	山内 孝史
取締役	野口 隆
取締役	畠中 直樹
取締役	鈴木 庸夫
取締役	荒木田 幸浩 (新任)
取締役 (社外)	岡田 康彦
取締役 (社外)	石塚 章夫
取締役 (社外)	名古屋 裕
常勤監査役 (社外)	矢野 栄一
常勤監査役	齋藤 俊史 (新任)
監査役 (社外)	椿 勲

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

株式情報 (平成30年3月31日現在)

株式の状況

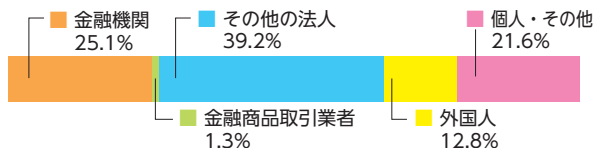
発行可能株式総数	500,000,000株
発行済株式総数	197,385,640株
株主数	18,356名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三井物産株式会社	49,192	24.96
有限会社大和興業	5,734	2.91
株式会社横浜銀行	5,578	2.83
ケイヒン株式会社	5,235	2.66
東京海上日動火災保険株式会社	4,287	2.18
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	4,218	2.14
農林中央金庫	4,202	2.13
朝日生命保険相互会社	4,019	2.04
株式会社みずほ銀行	3,603	1.83
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	3,125	1.59

(注)持株比率は自己株式(332,996株)を控除して計算しております。

株式の所有者別分布状況



連絡先 (照会先)	☎ 0120-782-031 受付時間：土・日・祝祭日を除く9：00～17：00
単元株式数	100株
証券コード	2060
公告方法	電子公告により行います。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることが できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載のホームページアドレス http://www.feed-one.co.jp/

平成30年6月28日

株 主 各 位

横浜市神奈川区鶴屋町二丁目23番地2

フィード・ワン株式会社

取締役社長 山内 孝史

第4期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、本日開催の当社第4期定時株主総会において、下記のとおり
報告及び決議されましたのでご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項

1. 第4期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の
連結計算書類監査結果報告の件
2. 第4期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)
計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

本件は、原案のとおり承認可決され、本年の配当金額は
普通株式1株につき普通配当金4円50銭となりました。

第2号議案 定款一部変更の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

第3号議案 取締役8名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、取締役8名がそ
れぞれ就任いたしました。

第4号議案 監査役2名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、監査役2名がそ
れぞれ就任いたしました。

第5号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

第6号議案 取締役に対する株式報酬制度の額及び内容決定の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

以 上